



イエスさまのふっかつのよろこびを たくさんのひとにとどけましょう

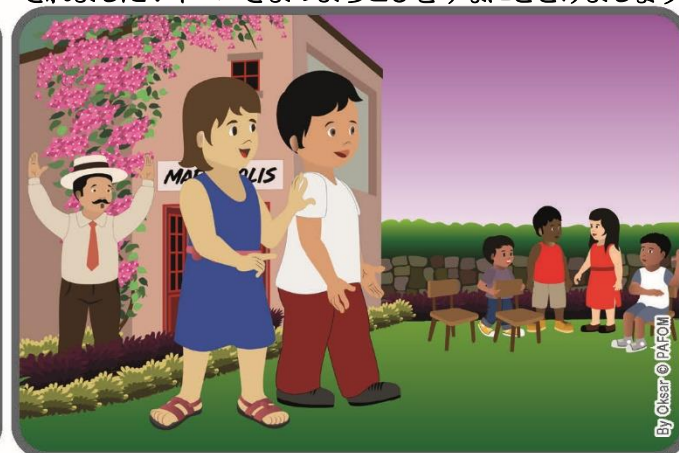
しとたちはおおいなるちからをもって、しゅイエスのふっかつをあかしし、みなひとびとから、ひじょうにこういをもたれていた。(しと 4・33)



なんというよろこび、イエスさまはふっかつされた！ふじんたちとでしたちは、ふっかつをみてそのよろこびをであうひにつげています。でもみていないひとは、イエスさまがほんとうにふっかつされたことをしんじることはむづかしいです。

トマスもそうです。しとのひとりですがそこにいませんでした。「わたしは、このめでみるまで、このてをそのくぎのきずにいれなければしんじない。」なんにちかあと、イエスさまはおもどりになり、

あいをもってトマスにはなします。「わたしのきずにあなたのてをいれなさい。」かれはよろこんでさげびます。「わたしのしゅよ、わたしのかみよ」イエスさまは、ほんとうにふっかつされました！イエスさまのよろこびをみなにとどけましょう。



コロンビアのマリアポリにはたくさんのひとたちがいます。おとな、こども、みなあいのおきてをいきようとしています。あるひとは、はじめてのさんかで、かいじょうにおとなといっしょにはいろうとせず、にわをさんぽしています。

にわにはたくさんのジェン4がいます。とちゅうでそのなかのひとりがおこって、ひとりはおれてしまいました。ほかのこどもたちはとどまりかおをみあわせています。そしてひとりのジェン4がはしってそのこにちかづき、「ごめんね ゆるして」といいました。

ジェン4はそのこをみて、にっこり、うれしそうにみなのところにもどって、いっしょにあそびはじめます。あのひとはそのことをとおくからみていてころをうたれて思いました。「ジェン4がおたがいのあいをいきて、あかししているのをいま、ほんとうにみることができた。」